

事業所名:みらいずカレッジ横手

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			児童生徒の年齢層に応じて、机の角等の危険箇所にコーナーガードを貼る等の環境整備を徹底している。利用者の状況に応じて、座席の配置を考え、安心して過ごせる環境の工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			児童の人数に応じて、適正人数を配置していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			事業所内、玄関～教室内には段差がないため、身体障害のお子さんでも過ごしやすい環境である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			その日の子どもたちの様子を詳細に観察、記録して職員間で共有することで次回以降に最適な支援を提供できるよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			引き続き面談等の機会で保護者様のご意向を確認していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			義務化項目の研修に加えて、OL研修等にも参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			定期面談を行い、児童および保護者のニーズを確認するとともに、事業所での様子等も併せて伝える機会を設けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			100%	活動の進み具合をみながら評価しているため、今後ツール活用を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			ニーズや児童の困り感に合わせて、事業所職員でプログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			職員間で相談してカリキュラムの立案をするとともに、同じカテゴリの活動でも内容が固定化しないよう配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			事業所で過ごす時間が長い場合、楽しみながらコミュニケーションをとれるよう、またリフレッシュ出来る時間も設けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			児童が苦手とする項目でも、抵抗なく参加できるよう、個々に応じた内容で支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日かかさずに行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			毎日の子どもの活動等の振り返りや共有を通して、職員間の連携を図り、よりよい支援に繋がるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			職員間で成長がわかるように、ビフォーアフターの表記を心掛けている。また、文章だけではなく、数値で表記したり、写真に納めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングに加えて、日常会話での個々の状態も踏まえ、総合的に判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%			5領域に沿った支援を提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			管理者だけではなく、児童指導員等の他職員も参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			保護者様や児童本人より行事予定等を共有していただいている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			以前利用していた障がい福祉事業所より情報をいただいている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	事例がないため、まだ情報共有できていないが、今後事例があった場合には共有していく。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			医療機関からの情報を保護者様経由でいただいている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	障害のない子供達との交流の機会等、地域との交流を今後の課題としていきたい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			こども支援部会に年4回参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎の際に保護者の方へ当日の活動や様子を詳細にお伝えすることで、活動内容の不透明さがないように努めている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			100%	実施計画は立てているため、参加いただけるよう声掛けしていく。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			利用契約時に説明させていただいている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			送迎時や面談時に相談があるため、対応している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	同じような悩みをお持ちの保護者様同士が話せる場づくりを検討する。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			過去に苦情が出たことはないが、対応できるよう体制は整備している。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			カリキュラム表、イベント案内、新聞等、公式LINEやSNSで発信している。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%			SNSに児童の写真を掲載するときは、本人が特定されないようにモザイクをかけている。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			送迎時に子どものその日の様子を丁寧に伝えている。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	公共施設をお借りし、ルール・マナーを守り使用する機会を設けている。 地域住民との関わり合いの機会をあまり設定することができてないため、今後の改善目標としていきたい。
	非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		
38		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			避難訓練を活動内容に取り入れていることで、指導員だけではなく子どもにも防災の知識を身につけ、自分の身は自分で守ることの大切さを知らせている。
39		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			定期的に研修会を実施するとともに、児童との関わり方や声掛けの仕方も確認しあっている。
40		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			契約時に保護者様へ説明している
41		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			食物アレルギーがある児童への食事の提供はしていない。
42		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			100%	今後作成し、事例検討等で活用していきたい。